

平成25年度「三豊工ものづくりセンター」計画書

観 点	地域産業の担い手育成
名 称 目 標 取組の概要	(名称) ものづくりを通じた地域貢献と技術・技能の伝承
	(目標) 1 三豊工ものづくりセンターを中心とした積極的な地域貢献を果たす 2 工業各科の学習内容に関連した資格取得による技術・技能の向上を目指す 3 地域を担う子どもたちにもものづくりの楽しさを伝える
	(取組の概要) 1 「三豊工ものづくりセンター」は三豊観音寺地域におけるものづくり支援窓口として、数多くの要望に応えてきた。この取り組みは、本校周辺の地域だけでなく高松にある聾学校や盲学校および香川県園芸総合センターにまで支援の範囲が拡大してきた。これは、本校が近隣の特別支援学校や老人福祉施設の要望に応えた装置を数多く製作し寄贈するなど、積極的に地域貢献を果たしてきたことが広く知れ渡ってきたからである。現在、複数年計画で依頼されている要望には、地元豊浜向け綿繰り機の製作、盲学校向けの教育活動支援機器の開発などがあり、今年度はある程度完成に近づけるべく取り組みを活性化したい。
	2 本校卒業生の大半は、地元でもものづくり産業に従事している。製造現場で活躍できる人材となるには、それぞれの専門分野における技術・技能を高めることはもとより、知的財産教育を通して創造性を育み、常に生産性の向上を意識できることが必要である。そのためには、基礎・基本となる国家検定等の取得を通して自信を深めさせると共に企業における知的財産の創造・保護・活用などを学ばせることでキャリア意識の向上にも取り組みたい。
取組の 詳 細	3 将来の地域を担う子どもたちに対する科学技術や工業への興味・関心を高める取り組みを通して、地域産業を担っていく若者の意識を育む。実施形態としては、従来のサイエンスフェスタへの招待に加えて、出前授業など積極的に校外へ出て行く取り組みも考えている。
	1 地域社会への貢献 ・ 内容：特別支援学校向けの補助装置や地元の要望に応える綿繰り機の製作、保育所、幼稚園、小学校向けの教育支援機器など、人や地域社会に役立つものづくりへの取り組み ・ 実施時期：通年 ・ ねらい：ものづくりが果たす役割の理解を深め、実際に人や地域社会に必要なものづくりの製作技術を向上させるとともに、地域貢献を果たすことで社会的有用感を持たせる。
	2 生徒の技術・技能の向上 ・ 内容：機械加工技能士、電気機器組立技能士、電子機器組立技能士の育成と知的財産教育の充実 ・ 実施時期：通年 ・ ねらい：ものづくりの基礎となる技術や技能を向上させ、新しい開発や製作に必要な知的財産に関する知識を深化させる。
	3 将来の科学者や工業技術者の育成 ・ 内容：サイエンスフェスタイン三豊工2013 ・ 実施時期：平成25年11月16日（土） ・ ねらい：将来の地域産業を支える子供たちに対して、工業高校特有のイベント（ものづくり体験、課題研究作品等の展示・実演）を通して、科学や工業技術への興味・関心を高めさせるとともに、本校生徒の技術力の向上を図る。

平成25年度「三豊工ものづくりセンター」報告書

名称	ものづくりを通じた地域貢献と技術・技能の伝承
取組内容	○人や社会に役立つものづくり 「三豊工ものづくりセンター」は、三豊・観音寺地域におけるものづくり支援窓口である。今年度寄せられた要望で対応できたものは、次のとおりである。 4月 大野原幼稚園の手押し運搬用2輪車の修理 5月 観音寺第一高校の用紙裁断機修理 観音寺第一高校の体育館用懸垂幕昇降補助金具の製作 8月 一宮公園ドリームタワーのベル修理 9月 観音寺第一高校陸上部のハンマー投げ取っ手修理 11月 観音寺冬のまつりにイルカのハートイルミネーションを提供 12月 大野原町五郷地区に建設された水車小屋に取り付ける水車用軸の製作 1月 西部養護学校に無線リモコン、旗振り応援装置の贈呈 2月 大野原幼稚園にからくりおもちゃを贈呈 3月 西部養護学校のタイムタイマー修理  大野原幼稚園手押し車  観音寺第一高校裁断機  同校用懸垂幕昇降金具  一宮公園ベル修理  イルミネーション製作  五郷地区水車の軸を製作  無線リモコン贈呈  タイマー修理 今年度は、地域からの要望に基づいて新規に製作するだけでなく、修理の依頼も多く受け付けた。場合によっては、廃棄される物品も修理することで継続して使用できるようになった。特に一宮公園のベルの修理は、業者の見積もりが数十万円で頓挫していたものを数百円で修理することができた。関わった生徒たちは、自分たちが修理・製作した機械器具が人や社会に役立っていることで大きな達成感を味わったに違いない。この取り組みは次年度の後輩へと引き継がれる。 ○技術・技能の伝承 ものづくりの基礎となる技術・技能の向上を目指し、技能士の資格取得に取り組み、多くの合格者を出した。内訳は、3級機械加工技能士（普通旋盤）6名、3級仕上げ技能士1名、3級機械保全技能士9名、3級電子機器組立技能士6名の計22名が合格した。また、代表者1名が旋盤加工部門における高校生ものづくりコンテスト四国大会に挑戦した。 一方、知的財産教育では、カンブリア宮殿に出演されたことでも有名な株式会社大和製作所代表取締役の藤井薫様を迎えて「世界を変える人材になる」というテーマで講演をいただいた。さらに、昨年11月に技能五輪全国大会メカトロニクス職種で金メダルを受賞した本校卒業生岸上尚哉様（豊田自動織機株式会社勤務）より「後輩に伝えたいこと」というテーマで講演をいただいた。お二人の講演では、企業におけるものづくりの話だけでなく人材育成にも力をいれている様子をお聞きすることができた。 また、ものづくりの成果について評価を受けるために発明こふう展、パテントコンテスト、高校生技術・アイデアコンテストにも出品した。入賞こそしなかったが、取り組んだ生徒たちには貴重な経験になったものと思われる。